

旧土屋邸の
未来をみんな
で考える。



〆切10/31

「8つの公募要件」
への投票はこちら

「旧土屋邸」利活用事業の 公募要件をみんなで考えよう

ワークショップで町民のみなさんと育ててきた「8つの公募要件」。
投票を通して、あなたの想いも添えてください。

真鶴町とエンジョイワークスは、官民連携による「町民が事業者となるまちなか公的不動産再生モデル」の構築を進めています。

その舞台となるのが、昭和初期に建てられ、かつて町の民俗資料館として親しまれてきた旧土屋邸。長年の老朽化と維持管理の課題から閉館となりましたが、町民にとって思い出深いこの建物を、地域の新たな拠点として再生するための検討が始まりました。

2024年から2025年にかけて全5回のワークショップを開催し、町民・行政・民間が一緒に「旧土屋邸の未来」を議論してきました。

2024年度の全3回の取り組みでは、建物の歴史や価値を学び、「残したい理由」「活かす方法」を共有。

2025年度の全2回の取り組みでは、「真鶴らしい公募のかたち」をテーマに議論し、旧土屋邸を活用するための「8つの公募要件」をまとめました。

現在、その8つの中から”特に大切だと思う3つを選ぶ「投票」”を実施しています。皆さんの想いが、これから旧土屋邸を引き継ぐ事業者へのメッセージとなります。ぜひご参加ください。

「8つの公募要件」投票は裏面へ

■投票案内・参加方法

2024～2025年の全5回のイベントを経て、真鶴町のみなさんをはじめとした、ご参加いただいた皆様と一緒に考えた「8つの公募要件」です。この中から特に大切だと思う「3つ」へ投票してください。

投票期間：**2025年10月31日（木）まで**

投票方法：右記のQRコードから読み取って投票してください

内容：以下の「8つの公募要件」の中から「**3つ**」を選択

対象：真鶴町在住/出身・または関心のある方



▲「8つの公募要件」への投票はこちら

8つの公募要件

1. 歴史と文化を受け継ぐ

1. 旧民俗資料館としての歴史的・文化的価値を尊重しよう。

2. 続けられるしくみをつくる

2. 公共性を保ちつつ収支の安定を確保。責任体制・手順を明確に。

3. 地域とつながる

3. 町民・観光客・事業者が自然に集う「人溜まり」を生み出す活動を。

4. 真鶴らしさを生かす

4. （歴史・文化・自然・漁業など）真鶴の暮らしの美意識を感じられる体験やコンテンツをつくろう。

5. 外に開き、内を豊かにする

5. 町外の人材・知恵・資金を巻き込み、広く発信しながら町民自身が再び真鶴の価値を再発見できるようにしよう。

6. 建物や敷地を大切に扱うこと

6. 物件を丁寧に保存・活用し、文化財登録等の判断があった際にはその実施に協力すること。

7. 町とともに運営する

7. 町民と行政・事業者が対話し、誇りを育む協働体制をつくる。

8. 見守り育てる

8. 運営開始後、町民と行政・事業者が対話し、誇りを育む協働体制をつくろう。

投票へのご参加をお待ちしております。

真鶴町

〒259-0202

神奈川県足柄下郡真鶴町岩244番地の1

☎ 0465-68-1131

<https://www.town.manazuru.kanagawa.jp/index.html>

ENJOYWORKS

〒248-0014

神奈川県鎌倉市由比ガ浜1-3-1 2F

☎ 0467-53-8583

<https://enjoyworks.jp/>



ホームページ